

平成30年度九州ブロック青少年国際交流を考える集い 開催要項

1. 趣旨

内閣府、九州ブロック内の地方公共団体等が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等が、事後活動の情報をを行うとともに、地域、職場等における事後活動の促進、国際交流及び国際親善についての研究協議を行うことにより、青少年の育成、国際交流及び国際親善の促進に寄与することを目的とする。

2. テーマ

ことはじめ

「ながさき事始」 ～長崎に息づく異文化を再認識し、多文化共生について考える～

グローバル化が進む現在、多くの分野において他国との連携の重要性が増している。こうした時代において、内閣府の青年国際交流事業を始め、各都道府県、地方公共団体の派遣事業等で、国や地域の代表として国際社会での体験を積んだ青年たちの果たす役割はますます大きくなっている。今後は次世代を担うより多くの青年が国際交流事業に参加できる機会を提供することで、国際社会で活躍できる人材の育成を目指したい。そのために、世界とのつながりの中で地域の歴史や文化を再認識し、地域の発展のために他機関や他分野とも連携し、共生することが重要な課題である。

本大会の基調講演には長崎市在住のグラバー園名誉園長であるブライアン・バークガフニ氏をお招きする。鎖国時代の約200年間、長崎の出島は海外に開かれた日本の唯一の窓口だった。1859年の開国後も居留地がおかれたことで長崎は世界貿易都市としてさらに栄えた。そのため、長崎には食べ物、スポーツ、教育施設、会社など「日本初・長崎発祥」と言われるものが数多く残っている。それらの多くが西洋を始めとする諸外国の人々によってもたらされ、地元長崎の人々とのふれあいの中で育まれたものである。バークガフニ氏には、このように昔も今も長崎の街並みや生活に影響を与え続け、長崎の独特の雰囲気を作り出している多文化共生についての基調講演を頂く。分科会においては、長年、地元で活躍されている方々の講話や伝統文化体験を通じて、専門分野を生かしながら思いや文化を継承し続ける姿勢について学ぶ。また、各々の地域の歴史や文化について理解を深め、魅力を再発見したり、発信したりする方法を得る機会にしたい。

江戸時代から幕末にかけて長崎には最新の学問や技術を求め、見聞を広めた全国各地の遊学者たちが数多くいた。その多くが後に日本の歴史を動かす原動力となり、また地方振興の立役者となった。本大会では、当時の先人達の行動力に思いを馳せながら、歴史と異国情緒あふれる長崎で異文化理解、多文化共生そして世界の恒久平和について参加者全員で考え、各々の地域で IYEO として活動することを確認する機会としたい。

3. 主催

内閣府

日本青年国際交流機構

一般財団法人 青少年国際交流推進センター

長崎県青年国際交流機構

4. 後援（予定）

長崎県、長崎市

5. 主管

平成30年度「九州ブロック大会青少年国際交流を考える集い」長崎大会実行委員会

6. 期日

平成31年1月26日（土）～27日（日）

7. 会場 ホテルセントヒル長崎

〒850-0052 長崎県長崎市筑後町4番10号 TEL：095-822-2251

8. 参加対象者

内閣府、各ブロック内の地方公共団体が実施した青少年国際交流事業の既参加者、国際交流に関心のある青少年等

9. 問い合わせ先

九州ブロック青少年の国際交流を考える集い実行委員長

Mail: ar1smile.1126@gmail.com

10. 参加費

宿泊（全日程参加） 4～6名部屋：11,500円 ツイン：12,500円 シングル：14,000円

日帰り参加（懇親会費込） 7,000円 講演会・分科会のみ参加 1,500円（資料代含む）

学生割引：日帰り参加：無料（懇親会宿泊等が必要な場合は別途相談）

【オプション】分科会3：参加費 1,500円

地域理解研修参加費：3,000円（昼食代込）

11. 参加申し込み

参加申込書に(1)氏名、(2)住所、(3)性別、(4)連絡先（電話番号等）、(5)参加人数、(6)懇親会参加の有無、(7)希望分科会（第2希望まで）(8)地域理解研修参加の有無、(9)宿泊の有無（有の場合は、シングルまたはツインの希望まで）を明記の上、12月23日（日）までに、フォーム、メールのいずれかでお申し込みください。日帰り参加の方は1月13日（日）までにお申し込みください。

1. フォーム：<https://goo.gl/forms/gEyLuzaXklSJDEt83>

2. メール：ar1smile.1126@gmail.com

12. 日程

第1日目 1月26日（土）

11:30~12:45 国際交流事業関係者連絡会議（セントヒル長崎・会議室）

12:30~12:55 受付

13:00~13:20 開会式

13:30~15:00 基調講演：「多文化共生の先駆けとしての長崎」

講師：ブライアン・バークガフニ氏 (Brian Burke-Gaffney)

カナダ・ウィニベグ市出身（1950年）。

長崎総合科学大学教授。研究テーマは東洋思想、比較文化論、長崎の国際交流史、旧長崎居留地に関する歴史社会学的研究。グラバー園名誉園長。

1972年来日。1973年から約9年間、京都妙心寺で禅の修行。1982年に長崎市に移り住み、長崎市嘱託職員を経て1996年より現職。1992年外国人としてはじめて長崎県民表彰を受賞。2008年からグラバー園名誉園長。

主な著書：『グラバー園への招待』（2010年、長崎文献社）、『霧笛の長崎居留地：ウォーカー兄弟と海運日本の黎明』（2006年、長崎新聞社）、『華の長崎：秘蔵絵葉書コレクション』（2005年、長崎文献社）ほか。

15:30~17:30 分科会

分科会① 「ぶらぶらウォーキング・ツアー（街歩きツアー）」（27日地域理解研修で実地体験予定）

長崎県通訳案内士による「とっておきの話」

会場：セントヒル長崎 定員：約25名

講師：長崎県通訳案内士協会元会長 田崎 徹 氏

概要：長崎と異文化が融合された歴史ある街を通訳案内士として長年、長崎の魅力を発信し続けている専門家による講話。地域の魅力再発見、発信のノウハウを学ぶ。

分科会② 「平和講話 ～平和は長崎から～」

長崎平和案内人による「73年前の長崎そして今」

会場：セントヒル長崎 定員：約 25 名

講師：長崎平和推進協会：森田 博満 氏

概要：次の世代に語り継ぎたい原爆・戦争に関する講話。長崎に一発の原子爆弾が落とされた 1945 年 8 月 9 日。あの日、11 歳だった少年の記憶と思いの継承を通じて、平和と人材育成について考える。

分科会③ 「地域伝統文化体験 ～中国文化（中国茶）体験～」

会場：長崎市・唐人屋敷跡 定員：約 15 名

概要：今も長崎の歴史、文化そして日々の暮らしに多大な影響を与え続けている中国。中国の文化体験を通じて、長崎を知り、異文化との共生について考える。

参加費：1,500 円（電車往復運賃 240 円は別途御準備願います）

18:30～20:30 懇親会 会場：セントヒル長崎

アトラクション 龍踊（長崎大学龍踊部）

第 2 日目 1 月 27 日（日）

9:00～10:30 帰国報告会（長崎県出身者）

小田崎ありさ（平成 26 年度「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」）

久保 花実（平成 29 年度「国際青年育成交流（ミャンマー）」）

山内 晋平（平成 30 年度「東南アジア青年の船」）

10:40～11:00 閉会式

11:30～15:00 地域理解研修「長崎新発見の旅」

普通の観光では絶対に行くこと、見ることができないような隠れた長崎の名所を、ベテラン通訳案内士の田崎氏に案内していただきます。

参加費：3,000 円予定（昼食代 約 1,350 円込）

11:30～12:00 昼食会場へ移動（長崎駅前～浜の町 徒歩・電車）

※電車運賃 240 円は別途ご準備願います

12:30～13:30 集合・昼食（吉宗：長崎市浜の町 創業 150 年余）

13:30～15:00 街歩きツアー

15:15 長崎駅解散

13. 実行委員会

実行委員長：小田崎ありさ（平成 26 年度「シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ」）

実行副委員長：山田 公美（平成 16 年度「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」）

事務局長：岩本 頼子（平成 14 年度「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」）

会計：林 真功（平成 22 年度「世界青年の船」）

委員：山田あゆみ（平成 22 年度「世界青年の船」）

久保 花実（平成 29 年度「国際青年育成交流」）

大久保結加（平成 29 年度「日本・韓国青年親善交流」）

山内 晋平（平成 30 年度「東南アジア青年の船」）

下田真太郎（賛助会員）